

令和 3 年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅳ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第 1 章 調査要領

1－1. 調査時点及び調査対象期間	1
1－2. 調査対象	1
1－3. 調査方法	1
1－4. 回収状況	1

第 2 章 概況

2－1. 全体の動き	2
2－2. 業種別の動き	3

第 3 章 各判断項目回答割合と天気図

3－1. 記号説明	4
3－2. 各業種の動向	4
3－3. 採算	7

第 4 章 産業別経営上の問題点

4－1. 回答実数	8
4－2. 回答割合	8

第 5 章 産業別設備投資の状況

第 6 章 業界の景気動向等その他のご意見

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点: 令和4年1月1日(土)～4年3月31日(木)

(2) 調査対象期間: 令和3年1月～3月期実施、及び令和4年4月～6月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

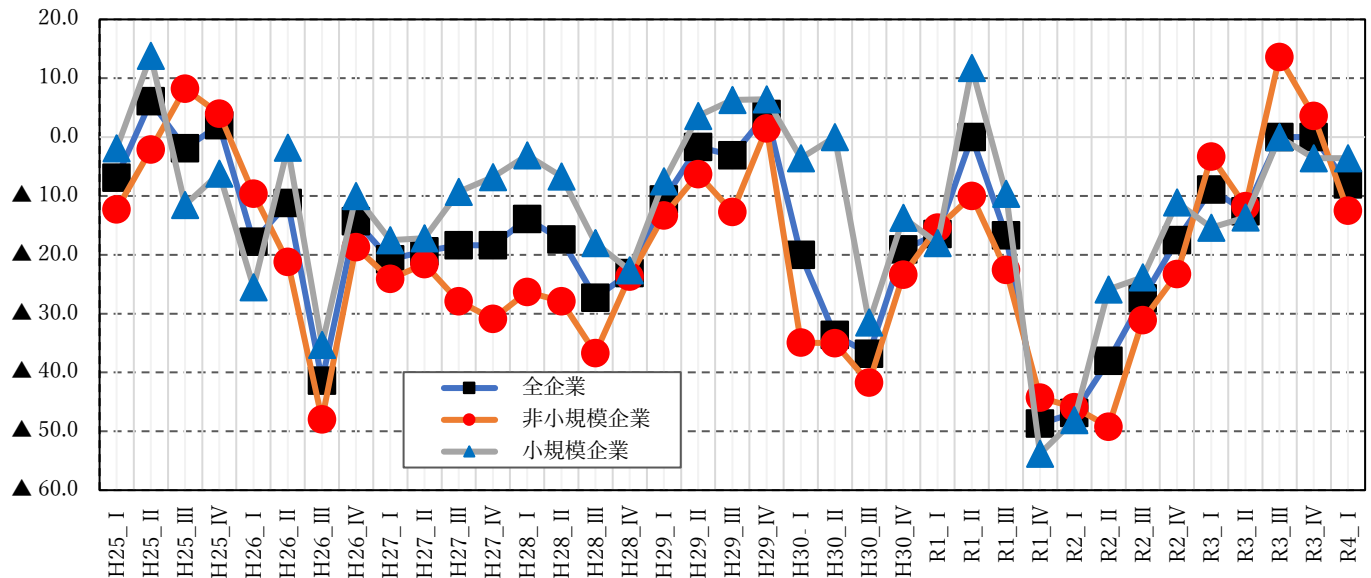
1-4. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30 件	25 件 (非小規模企業: 12 件) (小規模企業: 13 件)	83.3 %
製造業	24 件	18 件 (非小規模企業: 8 件) (小規模企業: 10 件)	75.0 %
卸売業	20 件	13 件 (非小規模企業: 7 件) (小規模企業: 6 件)	65.0 %
小売業	40 件	26 件 (非小規模企業: 13 件) (小規模企業: 13 件)	65.0 %
サービス業	44 件	30 件 (非小規模企業: 16 件) (小規模企業: 14 件)	68.2 %
合 計	158 件	112 件	70.9 %

第2章 概況

2-1. 全体の動き

R3 第Ⅳ四半期
全業種 業況D.I値



令和3年度第Ⅳ四半期（1月～3月）の業況は、前年同月比で「好転企業」22.3%「悪化企業」22.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は0.0となり、前期から変動ありませんでした。

業種別で見た業況は建設業が4.0ポイント改善し8.0、製造業は29.8ポイント悪化し5.5、卸売業は変わらず0.0、小売業18.9ポイント改善し▲6.1、サービス業6.7ポイント悪化し▲6.7と小売業、サービス業以外で好転傾向を示し、特に小売業は大きく改善しました。

次期（4月～6月）の業況判断D.I値は、今期と比べ▲8.8ポイント悪化し、▲8.8を予想しております。業種別では建設業は16.0ポイント悪化し▲8.0、製造業は16.7ポイント改善し22.2、卸売業は7.7ポイント改善し7.7、小売業は43.9ポイント悪化し▲50.0、サービス業10.0ポイント改善し3.3、第Ⅳ四半期との比較で悪化しているところが多く、見通しが立たない状況になっています。

今期の課題として「人手不足」「諸経費増」「売上の不振」を問題にしている企業が増えています。また、今期の特徴として「得意先減少」「同業者間の競合」が減少傾向にあります。

全体としては、R1第Ⅱ四半期から続いたマイナス水準を脱したものの、依然としてコロナ禍の先行きが見えないことから予断を許さない状況にあります。

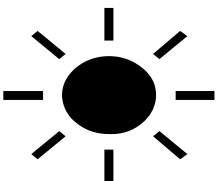
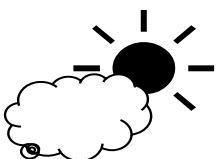
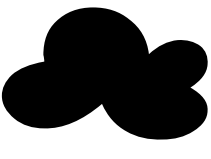
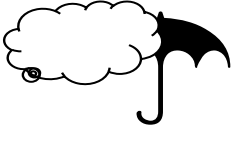
このような中、今後も全業種において経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

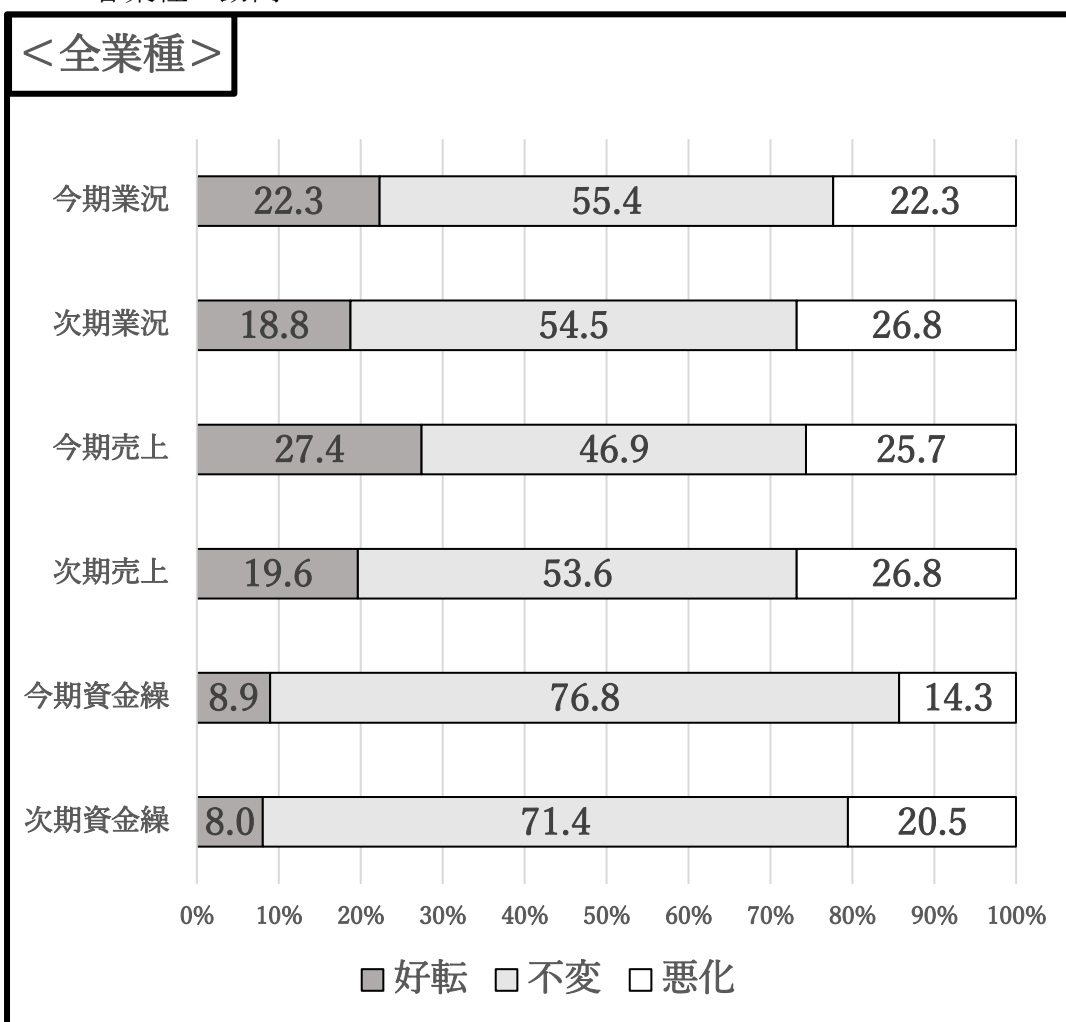
	規模/項目	売上高（完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増 加	減 少	DI値	増 加	減 少	DI値	業 況	売 上	資金繰
建設業	小 規 模	23.1	38.5	▲ 15.4	15.4	46.2	▲ 30.8	0.0	▲ 15.4	▲ 15.4
	非小規模	38.5	23.1	15.4	33.3	8.3	25.0	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0
	全 体	30.8	30.8	0.0	24.0	28.0	▲ 4.0	▲ 8.0	▲ 28.0	▲ 20.0
製造業	小 規 模	0.0	10.0	▲ 10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	10.0
	非小規模	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0
	全 体	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	22.2	27.8	5.6
卸売業	小 規 模	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3	▲ 16.7
	非小規模	28.6	42.9	▲ 14.3	0.0	42.9	▲ 42.9	▲ 14.3	0.0	▲ 28.6
	全 体	30.8	30.8	0.0	15.4	30.8	▲ 15.4	7.7	15.4	▲ 23.1
小売業	小 規 模	23.1	23.1	0.0	15.4	38.5	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 30.8
	非小規模	46.2	15.4	30.8	23.1	38.5	▲ 15.4	▲ 69.2	▲ 38.5	▲ 30.8
	全 体	34.6	19.2	15.4	19.2	38.5	▲ 19.2	▲ 50.0	▲ 30.8	▲ 30.8
サービス業	小 規 模	14.3	28.6	▲ 14.3	14.3	35.7	▲ 21.4	▲ 21.4	▲ 21.4	0.0
	非小規模	31.3	37.5	▲ 6.3	18.8	31.3	▲ 12.5	25.0	18.8	6.3
	全 体	23.3	33.3	▲ 10.0	16.7	33.3	▲ 16.7	3.3	0.0	3.3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

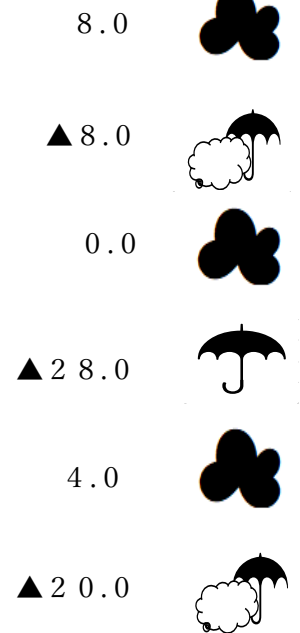
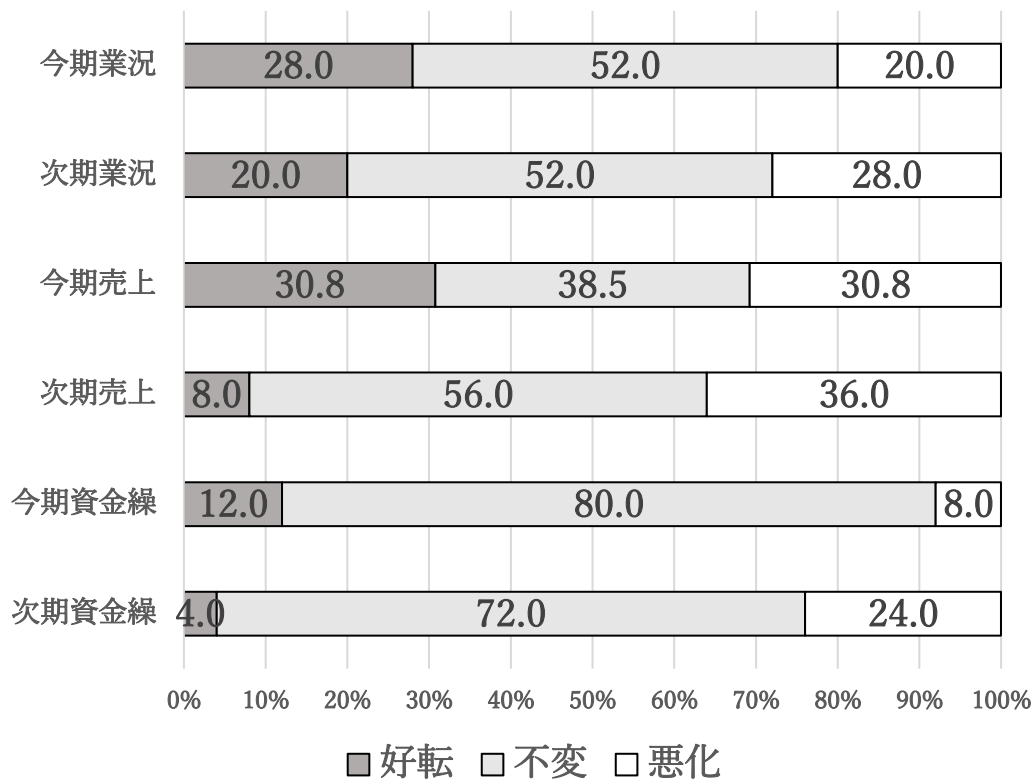
3-1.記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

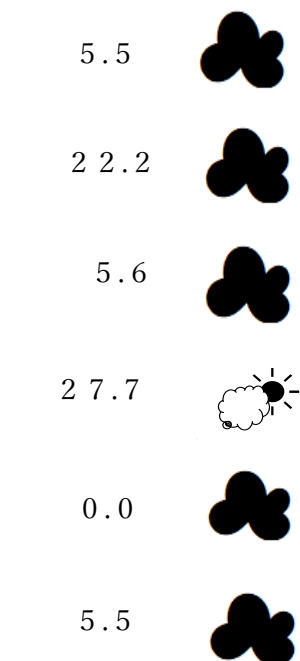
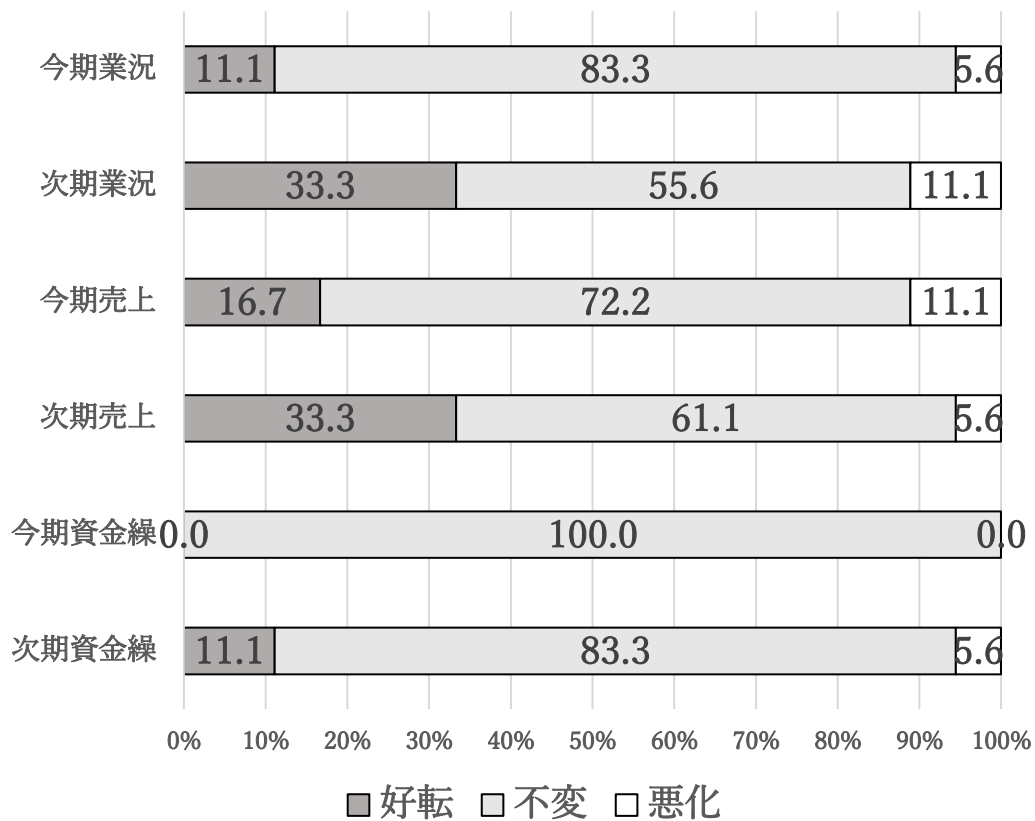
3-2. 各業種の動向



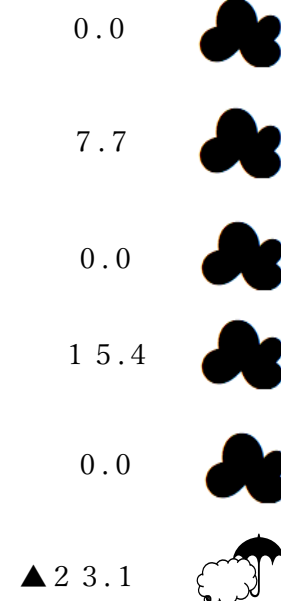
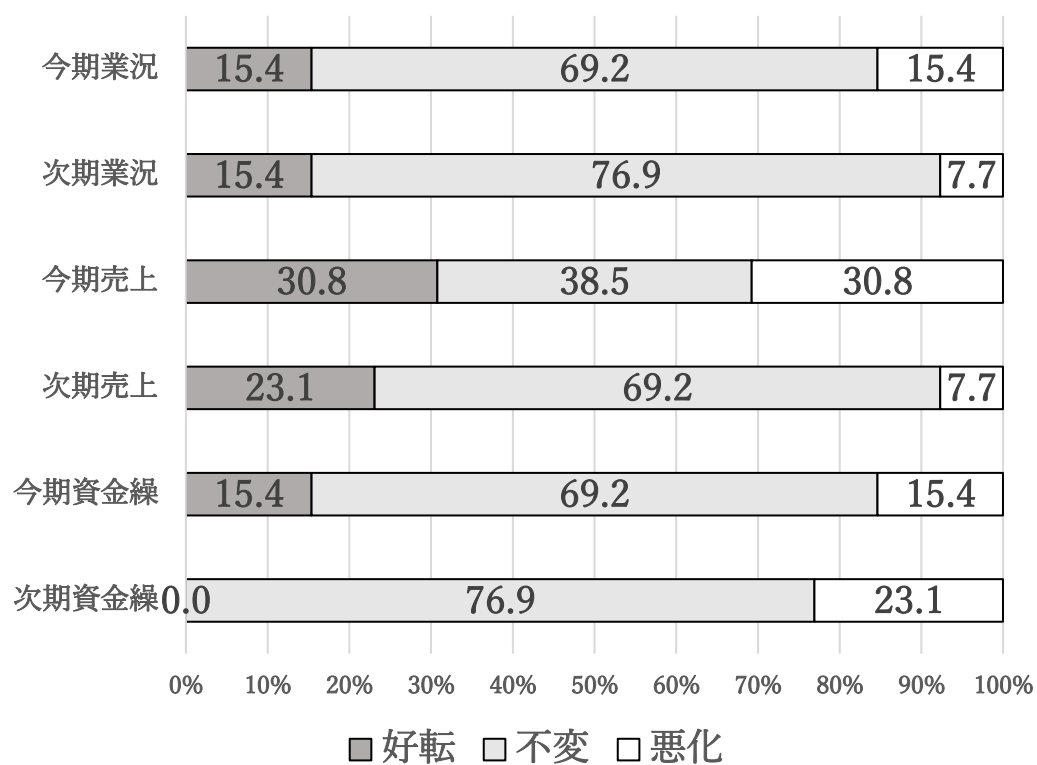
<建設業>



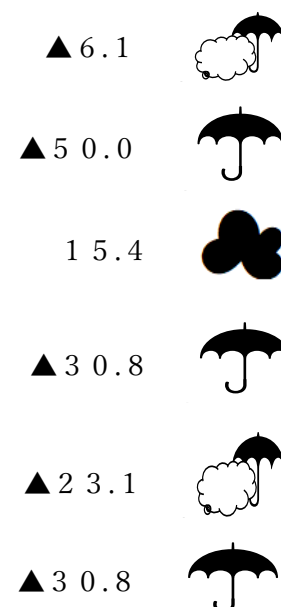
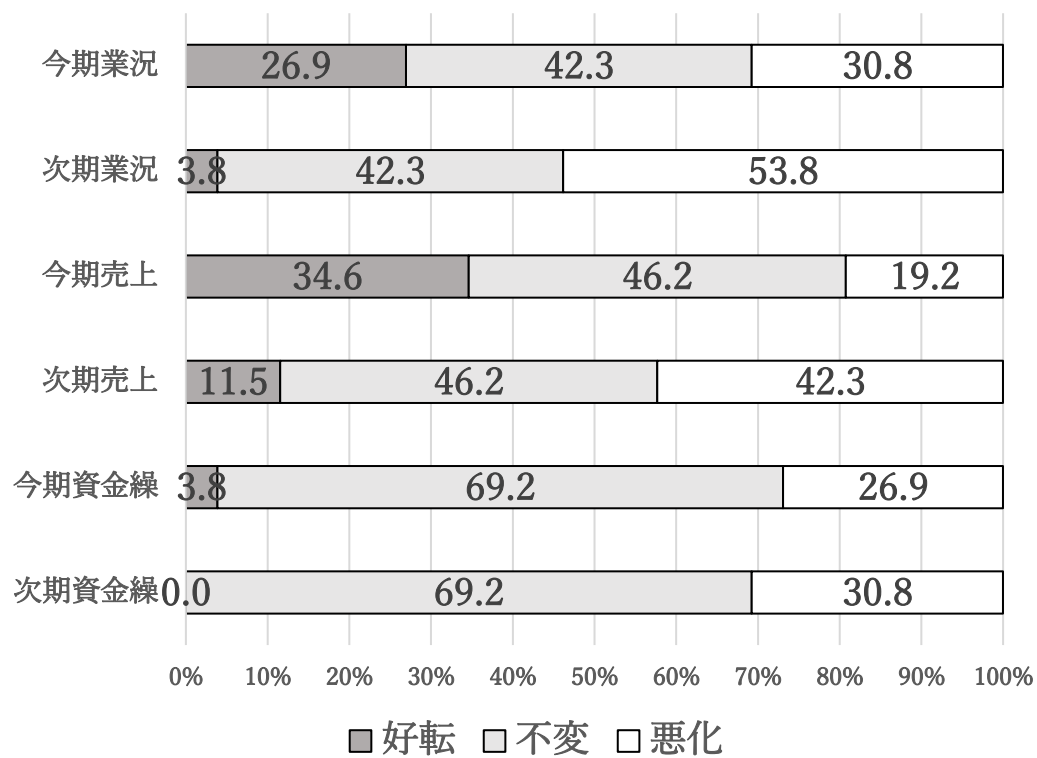
<製造業>



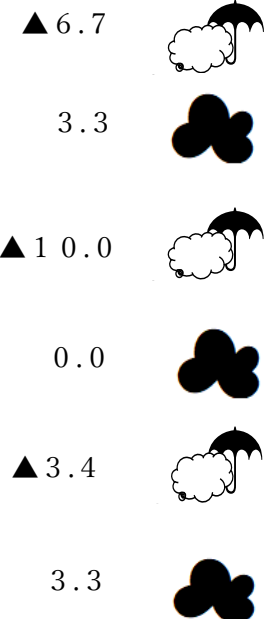
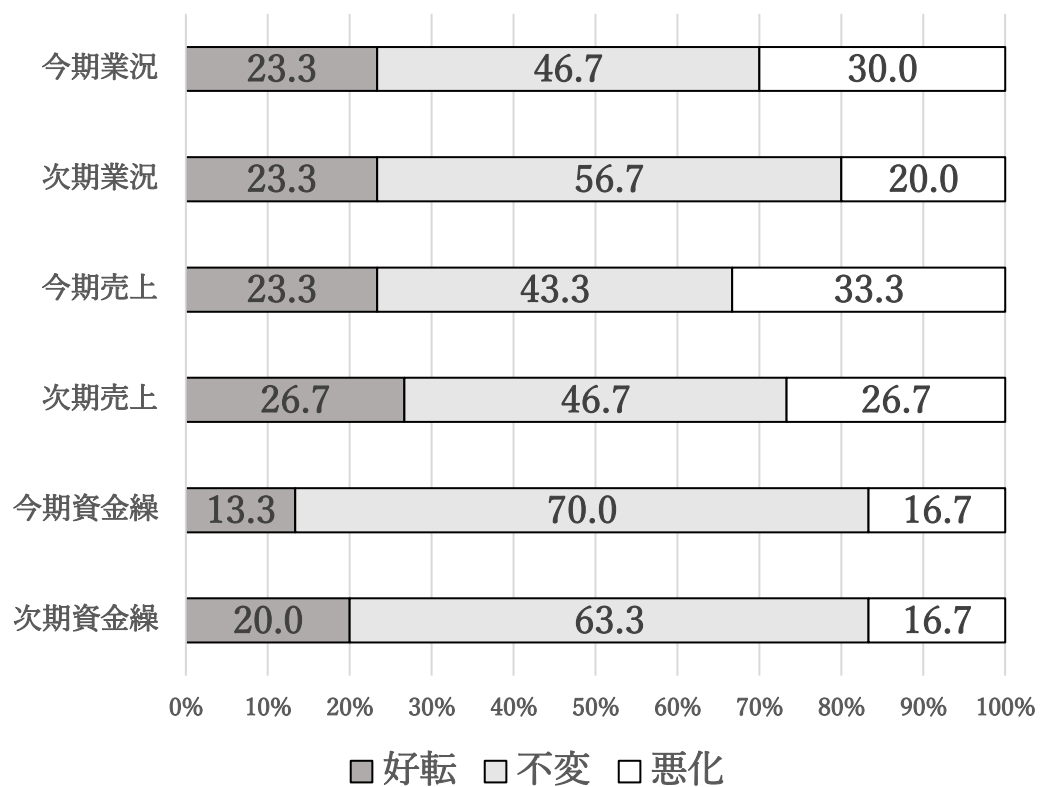
<卸売業>



<小売業>

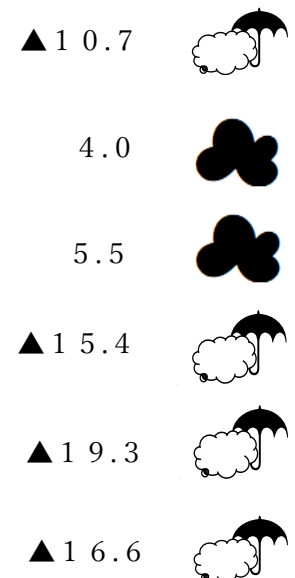
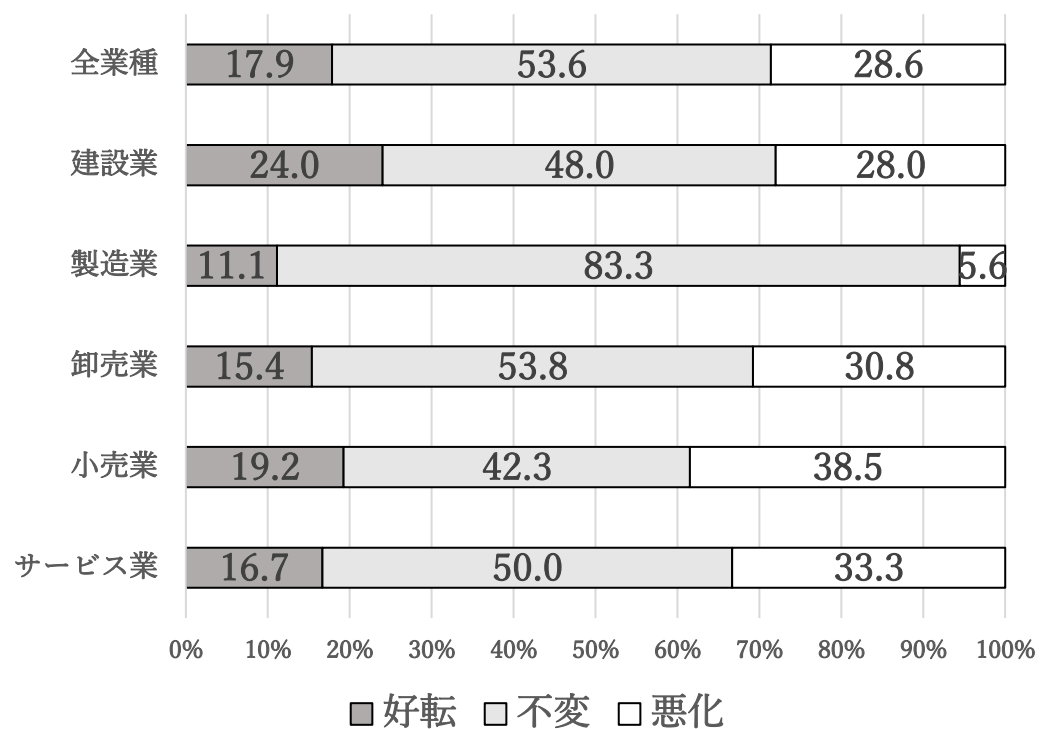


<サービス業>



3-3. 採算

今期の採算<業種別>

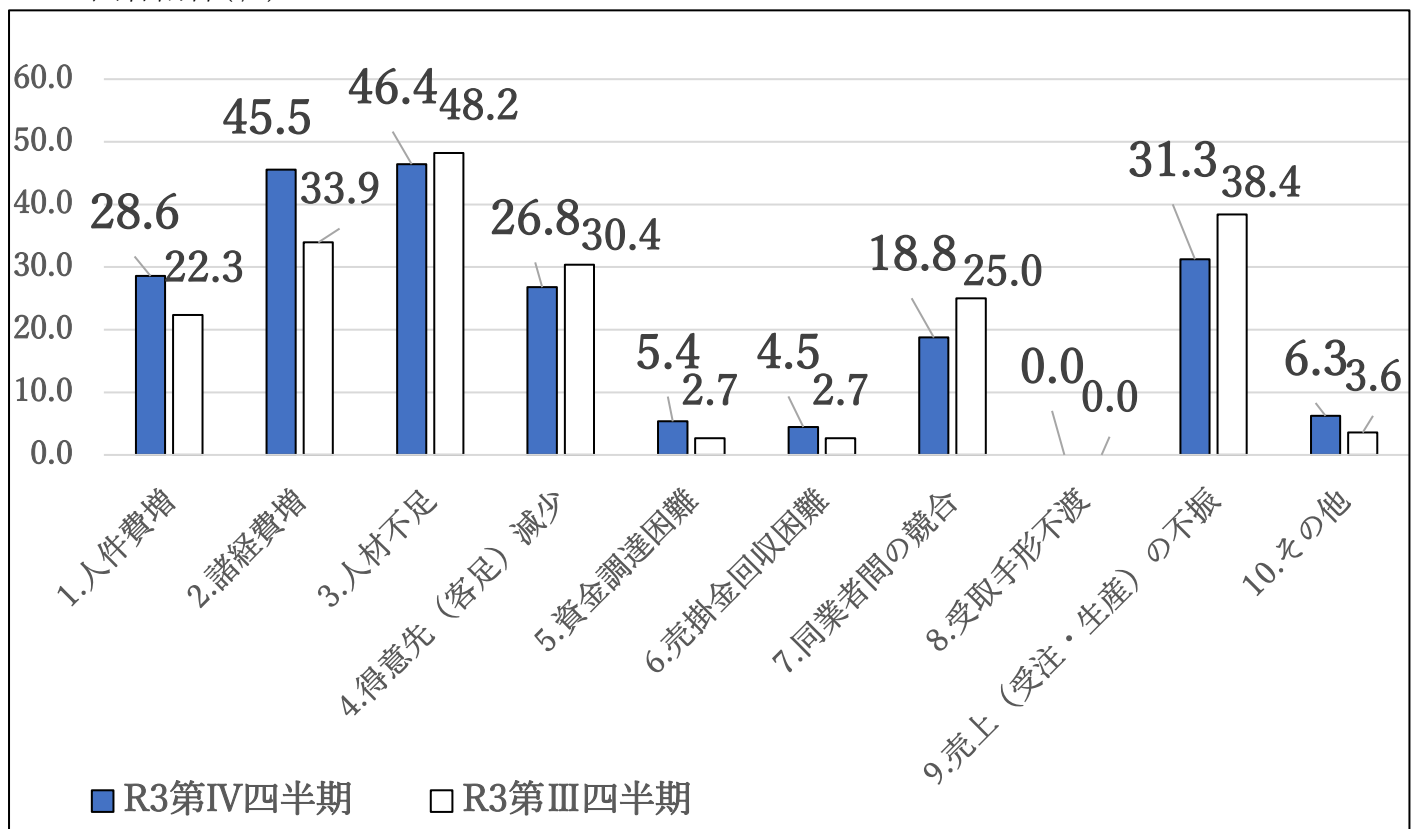


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増 売上の不振	諸経費増	得意先減少 同業者間の競合	資金調達困難
製造業	諸経費増 人材不足	人件費増	得意先減少	同業者間の競合	売上の不振
卸売業	売上の不振	諸経費増	人材不足	得意先減少	同業者間の競合
小売業	得意先減少	諸経費増	人材不足 売上の不振	同業者間の競合	人件費増
サービス業	諸経費増	人材不足	売上の不振	人件費増	得意先減少
全業種	人材不足	諸経費増	売上の不振	人件費増	得意先減少

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

【建設業】 資材の値上げ、品薄状況

【製造業】 原材料価格の上昇による販売価格転嫁

【卸売業】 ウッドショックによる木材の高騰、資材不足

【小売業】 仕入単価値上げ、仕入商品不足（メーカーに在庫がない）、仕入高の上昇

【サービス業】 仕入の遅延

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	6 件	24.0	4 件	22.2	3 件	23.1	4 件	15.4	11 件	36.7	28 件	25.0
していない	16 件	64.0	14 件	77.8	10 件	76.9	22 件	84.6	19 件	63.3	81 件	72.3
無回答	3 件	12.0	0 件	0.0	0 件	0.0	0 件	0.0	0 件	0.0	3 件	2.7
合計	25 件	100.0	18 件	100.0	13 件	100.0	26 件	100.0	30 件	100.0	112 件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

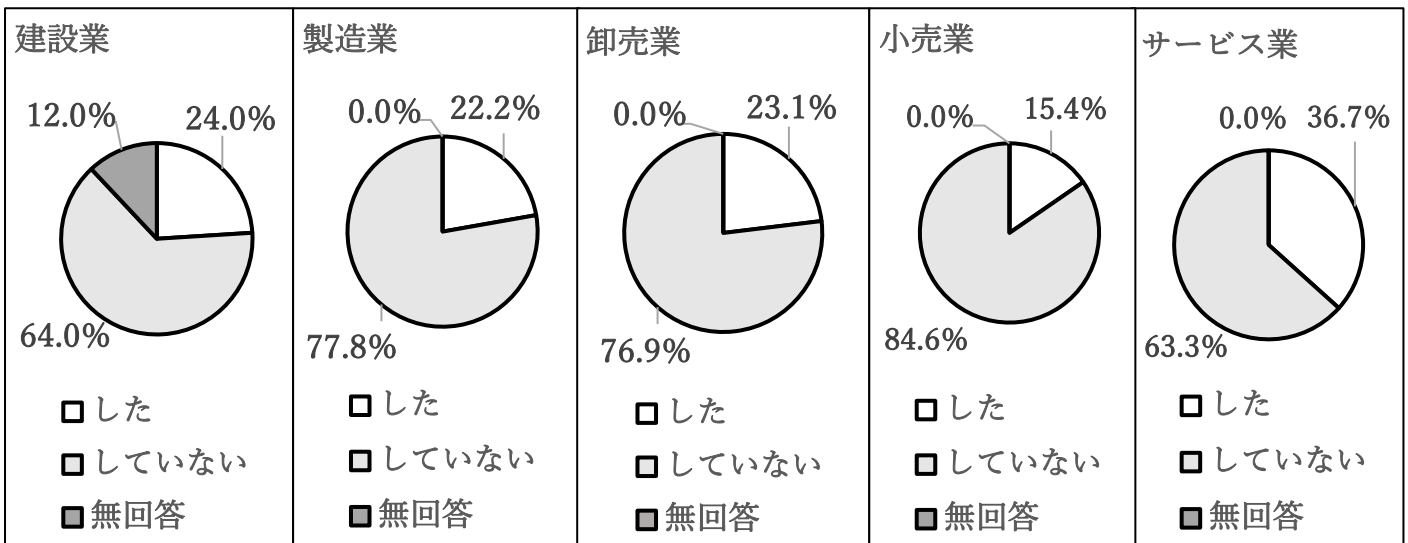


表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件
店舗	0 件	0 件	0 件	1 件	1 件	2 件
販売設備	1 件	1 件	1 件	0 件	1 件	4 件
車輛運搬具	4 件	1 件	1 件	1 件	2 件	9 件
付帯設備	0 件	3 件	1 件	3 件	4 件	11 件
OA機器	1 件	1 件	1 件	0 件	4 件	7 件
福利厚生施設	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件
その他	1 件	0 件	0 件	0 件	1 件	2 件
合計	7 件	7 件	4 件	5 件	14 件	37 件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

【建設業】 測量機器

【サービス業】 機械

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【製造業】

- ・ 価格改定を実施する予定だが得意先の反応が心配。(逆目に出なければいいが)
- ・ 海外からの実習生の入国の目処が立っていない為、慢性的に人材不足。
- ・ 昨年から用紙資材の値上がりが続き、状況によっては、今後も値上がりがありそうである。コロナにより諸行事が中止になり、それに伴う印刷物の発注が本年はどうなるのか見通せていない。
- ・ 光熱費、燃料、包材、原料費、全てが値上がりして今後の見通しが立たない。

【小売業】

- ・ 社員募集しても応募がなく人材不足で悩んでいます。年齢的に後継者の事も考えており人の問題が今後ますます厳しくなっていくのかと心配が絶えません。
- ・ 金物の仕入価格の上昇と原油価格の上昇に伴い、ガソリン、軽油の価格上昇で配送コストが上昇し、利益が削られる。
- ・ インバウンド観光は海外は皆無となったが国内旅行者増によって補っている状態、国内のアドベンチャーツアー業界が知恵を絞って業況を改善できると確信する。

【サービス業】

- ・ コロナ禍に加え、ウクライナ・ロシア問題の影響が徐々に出ている。原材料などの価格が上がり、メニューの値段に転嫁しようと思うがなかなかできていない。